



TITLE:

京大東アジアセンターニューズレター 第585号

AUTHOR(S):

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター

CITATION:

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター. 京大東アジアセンターニューズレター 第585号. 京大東アジアセンターニューズレター 2015, 585

ISSUE DATE:

2015-09-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/199831>

RIGHT:

2015 年 9 月 7 日発行 第 585 号

CONTENTS

アジア自動車シンポジウム 2015 のご案内	2
上海街角インタビュー ㊦	3
読後雑感：2015 年 第 20 回	6
【中国経済最新統計】	12



アジア自動車シンポジウム 2015 のご案内

主催

京都大学東アジア経済研究センター

共催

東京大学ものづくり経営研究センター

東京大学社会科学研究所現代中国研究拠点

京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター

後援

京都大学東アジア経済研究センター支援会

アジア自動車シンポジウム 2015 2020 年中国自動車産業を予測する

—生産国基準とメーカー基準の両側面から—

■京都会場 2015 年 11 月 7 日(土) 13 時

京都大学経済学部三番教室(法経東館 2 階)

■東京会場 2015 年 11 月 9 日(月) 13 時

京都大学東京オフィス(品川インターシティA棟 27 階)

2020 年に中国の自動車生産台数はどこまで増大するかを予測する。

ただし、自動車生産台数を生産国基準とメーカー基準の二つの基準を使って予測する。生産国基準とは、一つの国で何台の車が生産されたかを数える方式であり、どのようなメーカー(国産メーカーか、外資メーカーか)が生産したかは無視している。通常、各国の自動車工業会使用している国内生産台数に関する統計数値である。

他方、メーカー基準とは、その国の国産メーカーが世界全体で生産した台数であり、どこで生産されたか(国内か、海外か)は無視する。国産メーカーの国内と海外での生産台数での合計である。

2013～14 年の中国の自動車生産台数を生産国基準でみると、おおよそ 2200 万台前後であるが、メーカー基準では 1100 万台程度となる。では 2020 年にこうした数値はどのように変化するのか。本シンポではその予測に挑戦する。

13:00-13:20 挨拶

東京大学ものづくり経営研究センター ディレクター 新宅 純二郎

東京大学社会科学研究所現代中国研究拠点長 丸川 知雄

13:20-13:50 問題提起

京都大学 教授 塩地 洋 生産国基準とメーカー基準

13:50-15:20 第 1 部 2020 年の中国自動車産業

野村総合研究所 上級コンサルタント 張 翼 2020 年の市場予測と中国メーカーの海外生産

三菱総合研究所 首席研究員 野呂義久 2020 年の市場予測と中国メーカーの海外生産

フォーイン 中国調査月報編集長 平野孝治 中国の商用車の競争力

15:40-16:50 第 2 部 パネルディスカッション

野村総合研究所 張翼/三菱総合研究所 野呂義久/フォーイン 平野孝治 司会 塩地洋

16:50-17:00 閉会挨拶

17:10-18:30 懇親会

(みずほホール・法経東館地下 1 階) 参加費 2000 円(支援会会員は無料)

参加の御申込は、塩地 shioji@econ.kyoto-u.ac.jp に会場名、氏名・所属、懇親会出席を御連絡ください。シンポジウムの参加費は無料、懇親会は 2000 円です。ただし支援会会員は懇親会も無料です。

東京会場は定員 150 名、京都会場 200 名です。お早めにお申し込みください。

上海街角インタビュー ⑨

社団法人大阪能率協会アジア・中国事業支援室副室長（海外委員）

順利包装集团董事长（在上海）

福喜多技術士事務所所長

福喜多俊夫

あなたのストレス度は何点ですか？

人民網 7 月 15 日の記事に、旅行サイト「去哪儿」がビッグデータを通して中国人が今抱えているストレスを調査した結果が載っていた。報告によると、中国全土の平均ストレス値は 78.1 点だった（100 点が最高）。一線都市で暮らす人々のストレス値のほとんどが 82 以上で、うち最も高かったのが上海で 84。以下、北京、深圳、杭州、広州、天津、重慶、武漢、長沙、厦門（アモイ）と続いた。では、どの業界の人が最もストレスを感じているのだろうか？ 同報告によると、インターネット業界の創業者、金融業界、医療従事者、学生、教師などのストレスが大きく、うち、最高は創業者だった。一方、公務員のストレスは比較的小さかった。

ストレス度が最も高いと言われる上海人はどう感じているのだろうか？

1. 40 歳代前半の男性

うーん、点数で表すのはむづかしいけれど、上海人の平均よりやや高いかな。

ストレスの最大のものは娘の大学受験、復旦大学を狙っているのだけれど、このすさまじい勉強を見ていると、娘より親の方がストレスになります。次のストレスの種が両親の老化、特に父親が認知症を発症しているので今後が思いやられる。仕事はおもしろいのでストレスは大きくないです。

2. 20 歳代後半の女性

ストレス度は 90 以上です。まず、経済的なストレスです。間もなく子供が生まれるけれど、会社の福祉がよくないので心配、給料も低いし。主人は創業したばかりなので、働きの割には儲けが少ないです。毎日、夜遅くまでがんばっている所以健康が心配です。

3. 40 歳代中頃の女性

中国の平均以下です。専業主婦で、毎日アイさんが来るので、家事もストレスにならない。子どもは女の子なので有名大学に行かなくても好きな道を進ませたいと思っています。家もあるし、老後と子どもが結婚するまでに必要な程度のお金はあります。

4. 50 歳代前半の女性

土建業をやっているので、地方政府の動向に神経を使わねばなりません。人脈がすべての商売、ストレス度は 90 以上です。

5. 40 歳代中頃の男性

自動車部品を製造する民営会社の総経理です。ストレスは多いけれど、ストレスがバネになって、面白さの方が勝っています。今、自動車関連産業は頭を使って働けば働くだけお金になります。今のうちに儲けて、60 歳前に引退して、妻と世界旅行を旅行する計画です。でも、妻はあてにしていません。仕事面白くてやめられないだろうと言っています。ストレス度ですか？ 上海人の平均が 84 なら 80 位です。

6. 20 歳代後半の女性

公務員のストレスは比較的低いという調査結果があるのですか？

私は上海税関に勤めています。仕事面ではたいしたストレスはありません。でも、それは上司しだいです。上司が成績を上げようと躍起になっているといろいろ無理なことを言うのでうるさいです。今年は“十二五”（第 12 回五カ年計画）の最終年なので、つじつま合わせでややストレスが高くなりそうです。

7. 30 歳代前半の女性

私はストレステストを受けていないので、自分がどの程度のストレス度かわかりません。多分、私はそれほど高くないでしょう。私のストレスは大部分子育て（3 歳の息子）から来ます。これは世の中の母親すべてが感じるストレスでしょう。現在のところ、経済的なストレスや仕事からのストレスは殆どありません。

でも、あと 5 年位経てば状況は変わると思います。両親は老いてくるし、子どもの進学も現実的になってくるでしょう。

8. 50 歳代前半の男性

私は投資会社に勤めているので、業績にはあまりとらわれないので仕事面のストレスはあまりないです。忙しいことは忙しいけれど、仕事が無い方がストレスは高いです。

ストレス度としては 75 点くらいでしょう。休暇が一週間あれば旅行をしたいけれど、家族の意見を調整して計画する方がストレスになります。

ストレスというかプレッシャーは住居の問題です。同級生（私は復旦大学出身です）の殆どは公務員か企業のかかなりの地位にいて、いいアパートに住んでいます。私のように昔からの古いアパートに住んでいる人はいないので恥ずかしく、プレッシャーがかなり強いです。

自営業のオーナー社長はかなりストレスを感じているようであるが、思うように会社を運営できるので、面白さが勝っているようだ。若い人は相対的に仕事からはストレスを感じていない様子。人間関係のストレスを挙げた人は公務員だけだった。有名大学出身者は同級生に対するメンツもストレスになるようだ。

以上

読後雑感：2015 年 第 20 回

04.SEP.15

アジア・アパレルものづくりネットワーク代表理事

株式会社小島衣料オーナー

東アジアセンター外部研究員

小島正憲

1. 「“お迎え”されて人は逝く」
2. 「明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい」
3. 「出家的人生のすすめ」
4. 「“聖なるあきらめ”が人を成熟させる」
5. 「“死に方”格差社会」

1. 「“お迎え”されて人は逝く」 奥野滋子著 ポプラ新書 2015 年 8 月 3 日

副題：「終末期医療と看取りのいま」

帯の言葉：「亡き母が、手を握ってくれた。先生、私はもう大丈夫”死に抗って終わるのでなく、最期こそ人生に向き合ってほしい。2500 人を看取った医師による、“穏やかな死”のプロセスとは。最期まであなたらしくあるための“死の予習”本」

本書で奥野氏は、「人が逝くときには、“お迎え”現象というものが起きている」、「看取りを行った家族の 4 割が“お迎え”現象を体験している」と書いている。これは麻酔科の医師であり、長く緩和ケアに携わってきて、2500 人の最期を看取った奥野氏の体験を踏まえた上での発言であるだけに、信憑性が高いと思う。そして本書には、お母さんや長年連れ添った伴侶が、「お迎え」に来ることが多いと書いてある。これを読んで私は、「私の母も妻もまだ存命中だし、子どももすべて元気だ。また亡くなった父親とは仲が悪かったから来て欲しくない。果たして私の最期には、誰が“お迎え”に来るのだろうか」と、考えてしまった。

なお奥野氏はその他に、「私はこうした実態を見てきて、“お迎え”現象はある意味、死の恐怖に立ち向かう上でなんらかの助けになるのではないか、そして残された家族にとっても悲しみや寂しさをやわらげてくれるグリーフケア（喪失のケア）につながると考えています」、「多数の“お迎え”体験に接するうちに、それは意識の混濁や“せん妄”と捉えるべきものではなく、患者自身が死の準備をする契機で、背景には日本固有の死生観文化が控えていると考えざるを得なくなった」、「大方の人は、人生の終末を見つめることなく、

いたずらに年月を重ねてしまっていますが、自分らしく生きて、自分らしく死にたいなら、今こそ死生学を学ぶべきだと思うのです。何を優先し、何を切り捨てるかは、最終的には自分で決めるしかないのですが、そこにやはり死生観が大切であると思います」、「多くの人が死に際して願うのは、“自分”が生きてきた証拠を残したいということです」と書いている。

2. 「明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい」 樋野興夫著 幻冬舎 2015年8月5日

帯の言葉：「人はどう生き、死ぬまでに何をすべきか。命よりも大切なものがある。品性ある人生こそが、大事な人への贈り物になるのです」

著者の樋野興夫氏は、順天堂大学医学部の病理・腫瘍教授であり、2008年に「がん哲学外来」を開設し、がんで不安を抱えた患者と家族を会話を通して支援する予約制・無料の個人面談を行い、医療現場と患者の間にある「隙間」を埋める活動をしている。本書にはその樋野氏が、体験から導き出してきた貴重な金言集である。ちなみに本書の売れ行きは好調で、発刊以来、すでに5万部を超えているという。

樋野氏は本書のはじめにで、「あなたには、あなたにしかできないことが必ずあります。それは多くの場合、自分以外のものに目を向けることで見つかります。明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげてください」と書き、そして本書の最後で、「人生に疲れたらお墓に行くといい。お墓に行って人生のむなしさを知るといい。人生を死からみつめなおすことで忍耐が生まれます。忍耐ができると品性が生まれます。品性が持てると生きる希望が湧いてきます。どんなに偉い人でも必ず死にます。死ねば座布団1枚分の墓場しか残りません。たとえ疲れていたり、悩み事があったりしても、“誰でも死んだらこうなる”と改めて知ること不思議と心が癒されていきます」と書いている。

その他、樋野氏は、「私たちの人生は、最後の5年間をどう生きたかで決まります。極端な話をするならば、若き日のことはどうでもいい。一生かかって築いてきた地位や名誉や財産はどうでもいい。最後の5年間が何よりも大事です」、「これまではシングルメジャーの時代でした。一つの仕事に専念するのが美德とされてきました。しかし、これからはダブルメジャーの時代です。衣食住のための仕事の他に、もう一つ自分の情熱を傾けられるものを持つといい」、「孤独な時間は生きていくために欠かせないものです。孤独なくして、自分に与えられた役割や使命を見つけるのは難しいでしょう。孤独を

恐れることはありません」と、書き綴っている。

3. 「出家的人生のすすめ」 佐々木閑著 集英社新書 2015年8月17日

帯の言葉：「“出家”は僧侶だけのものではない。好きな道を歩み 生き方を変えるためのブッダの教え」

佐々木氏は本書で、上座部仏教の立場から、日本の大乘仏教を批判しつつ、「本書のキーワードは、“生き方の多様性”です。長い人生、定められた一本道をひたすら歩くしかないと考えている方々に、自分の意志で、自分はいくらでも違ったものになる、ということを知っていただくことが、一番の目的なのです」と書き始めている。その上で、「本当に自分のやりたいことだけをやり抜いて生きていきたいと考えるなら、それなりの人生の転換が必要であり、その転換のためのシステムを一番徹底的に磨き上げた完成形が仏教サンガなのですから、仏教サンガをモデルとして、世俗に生きる人でも“出家的な”生きがい追求の道を進むことができる」と述べている。つまり佐々木氏は、「本当に自分のやりたいことだけをやり抜いて生きていくためには、出家的人生が望ましい」と主張しているのである。

そして佐々木氏は、「仏教の僧侶は、それを手に入れるために、引きかえとして、世俗のあらゆる活動とあらゆる楽しみを放棄するのです。これをひとことで言うなら、“世俗の生活を送っていたのでは手に入らない特別なものを手に入れるため、世俗的喜びを放棄して特殊な生活へと転身した人たち”と言い表すことができます。まさにこれこそが“出家の定義”です。この定義文を見てお分かりの通り、ここには宗教的な意味合いは一切含まれていません。出家とは本来、宗教的な行為に限定されるものではなく、社会のあらゆる局面に見られるきわめて普遍的な行為なのです」と書き、「たとえば志を同じくする学問仲間が定期的に一つの場所に集まって一緒に勉強したり、それぞれの知識を教え合ったりすれば、学問の進度ははるかに速くなります。こうして出家仲間が連携を取って助け合う組織ができれば、それはまさに仏教サンガの現代版です」と書いている。また「今ある幸せをもっと膨らませるのではなく、今ある幸せの多くを捨てて、その代わりにもっと価値のある別の幸せをつかみたいと願う、そういう転職なら、出家的転職とすることができます」とも書いている。

最後に佐々木氏は、「出家的人生は素晴らしい。それは、人間だけが選択することのできる特別な生き方であり、人間だけが感じることのできる“真の喜び”に向かう道です。しかしそれは一面、鉄のタガでゆっくり心臓を締めつけ

られていくような、緩慢な苦悶の連続でもあります。敢えてその道を選択できるのは、釈迦と同じような人生の勇者だけでしょう」と書き、さらに「本書は大昔の仏教の話を土台にして現代人の生き方を考えるという、一見するとずいぶん無理のある内容になっていますが、そこには必然性があるということをご承知ください」と結んでいる。

4. 「“聖なるあきらめ”が人を成熟させる」 鈴木秀子著 アスコム 2015年7月2日

帯の言葉：あきらめることは前向きなこと 不安、執着、怒り、イライラを消すヒントがここに人生はあきらめるとうまくいく」

鈴木氏は、「あきらめる」には二つの意味があると言い、一般に通用している意味とは別に、「明らめる。物事を明らかにする。真理に達する。つまびらかにする」という意味があると言い、「聖なるあきらめとは、自分も周りも幸せにする行為なのです。賢く気持ちを切り替えていく行為であり、人間としての成熟に欠かせない行為でもあります。どんな困難な状況になっても、正しい行動や考え方を選択することで、うまく乗り越えることができます。周りから尊敬され、芯の通った人間になれるのです」と書いている。そして、「死へ静かに向かえるよう、心を安らかに整えていきましょう。それが生き延びることへの諦めとなる聖なるあきらめなのです」、「このような習慣が身に付けば、人を心から大切にしながら、今を幸せに生きることができます。と同時に、死を向かえる際にとっても大切になる態度を身に付けることにもつながります」と述べている。また、「“今の自分の人生の目的とは何か”、“自分にとっての幸せは何か”。これらを明らめる（はっきりと自覚する）と、努力するモチベーションが上がって、努力のつらさも軽くなる」と書いている。

5. 「“死に方”格差社会」 富家孝著 SB新書 2015年8月25日

副題：「満足できる死を迎えるには」

帯の言葉：「“ピンピンコロリ”は難しい！ ではどうするか？」「胃瘻、検査漬け、抗ガン剤による副作用... 医師任せ、過剰治療を避け主体的に死を選ぶ！」

著者の富家氏は、「医者としてはかなり特異な経験をしてきた」人物である。そのことを本書で著者自身が、「代々の医者之家に生まれた私は、当然のように医大に進学して医者になったが、独立心が旺盛だったため開業医となり、いつときは病院経営者として8つの病院やクリニックを切り盛りしていた。しかしビジネスの才覚はなく、あえなく倒産してしまい、それからは医療にかかわるあらゆる仕事を経験した」と書いている。その上、著者自身の

長男が母校の医療過誤で障害者となってしまい、著者は母校を相手に訴訟を起こしたが、刑事・民事ともに敗訴したという。本書はそのような経歴を持つ富家氏の怨念の書でもあり、医療業界の裏面を暴く、告発書ともなっている。

富家氏は、「人は思ったようには死ねない。しかし、今後は主体的に考えておかないといい死に方はできない」と書いている。そして「2025年問題」・「2035年問題」を次の様に提起している。「2025年、この団塊世代の中核が75歳を超えて後期高齢者となり、次々に病院や介護施設に入る必要が出てくる。これが“2025年問題”で、このとき、病院の病床数や介護施設は圧倒的に足りなくなる」、「“2035年問題”というのは、医療界では早くから囁かれていた問題だ。というのは、認知症患者がこの歳までに1000万人近くに達すると見られているからだ。現在、全国の認知症患者は約460万人とされる。これが2025年には約700万人に達し、さらに増え続ける」。

富家氏は、「いまや多くの医者が指摘しているが、集団で行う健康診断は無駄である。集団検診は、過去何十年にもわたって毎年数千万人が受けているが、それで健康になったり、寿命が延びたりしたというデータの根拠はない。むしろ、病気や異常を告げられることで体調不良になる人々が増加してしまう。本末転倒と言うほかない」と書いている。私はこの主張にも同意する。私も今回限りで、人間ドックを受けるのを止めようと思っている。

さらに富家氏は、「日本はじつは“寝たきり老人天国”である。これほどまで多くの高齢者が、ほぼ寝たきりで毎日の生活を送っている国は、世界でも珍しい」と書き、その理由を、「簡単に言うとオモテがどんなにいい先生であろうと、ウラは“カネの亡者”という医者がある。カネの亡者の医者にかかってしまうと、治る病気も治らない。かえって悪化してしまったりする」と述べている。その結果、寝たきり老人の激増ということになっているという。私はこの意見にも賛同する。母や妻、そして私の最近の病院通い（老衰、脊柱管狭窄症、高血圧、糖尿病、緑内障など）の状況を考えると、きわめて納得のいく意見である。それぞれの病院で、医者は「治る」とは言わない。しかし「通ってください」と言う。残念ながら、母も妻も私も、カネの亡者の餌食となり、国家財政の無駄遣いをしているのである。

富家氏は、延命治療について、「延命治療が極限まで達した日本では、“助からない”とわかっていても、これが行われてきた。医者の方もそれをするを自制しないできた。じつは、これは本人にとっても家族にとっても不幸なことなのだが、社会的にこれをやめさせようというコンセンサスは確立され

ず、**病院は儲けることだけに走ってきた**」、「終末期で延命治療だけで生きている患者さんには安楽死を認めてもかまわないのではなかろうか」と書いている。わたしも同感である。私はもっと過激に、「後期高齢者には延命治療やがん治療をやめるべきだ。そうすればかなりの金額の医療費が節約できるのではないか。それが高齢者ができる最大の社会貢献である」と考えている。なおこの主張は、数年後には自分の身に降りかかってくるので、今から、その心の準備をしておかねばならないと思っている。

最後に富家氏は、「つまり、誰もが逆らえない死を、どうマネジメントしていくかである。どう健康を保ち、**できれば医者の世話にならずに死んでいくためになにができるか**を考え、それを実行していくことである」と書いている。そろそろ私もそのために断食往生への試行をしなければならないと思っている。

以上

【中国経済最新統計】

	① 実 質 GDP 増加率 (%)	② 工 業 付 加 価 値 増加率 (%)	③ 消費財 小売総 額増加 率(%)	④ 消費者 物価指 数上昇 率(%)	⑤ 都市固 定資産 投資増 加 率 (%)	⑥ 貿易収 支 (億ドル)	⑦ 輸 出 増加率 (%)	⑧ 輸 入 増加率 (%)	⑨ 外国直 接投資 件数の 増加率 (%)	⑩ 外国直 接投資 金額増 加率 (%)	⑪ 貨幣供 給量増 加 率 M2(%)	⑫ 人民元 貸出残 高増加 率(%)
2005 年	10.4		12.9	1.8	27.2	1020	28.4	17.6	0.8	▲0.5	17.6	9.3
2006 年	11.6		13.7	1.5	24.3	1775	27.2	19.9	▲5.7	4.5	15.7	15.7
2007 年	13.0	18.5	16.8	4.8	25.8	2618	25.7	20.8	▲8.7	18.7	16.7	16.1
2008 年	9.0	12.9	21.6	5.9	26.1	2955	17.2	18.5	▲27.4	23.6	17.8	15.9
2009 年	9.1	11.0	15.5	▲0.7	31.0	1961	▲15.9	▲11.3	▲14.9	▲16.9	27.6	31.7
2010 年	10.3	15.7	18.4	3.3	24.5	1831	31.3	38.7	16.9	17.4	19.7	19.8
2011 年	9.2	13.9	17.1	5.4	24.0	1549	20.3	24.9	1.1	9.7	13.6	14.3
2012 年	7.7	10.0	14.3	2.7	20.7	2303	7.9	4.3	▲10.1	▲3.7	13.8	15.0
2013 年	7.7	9.7	11.4	2.6								14.1
6 月	7.5	8.9	13.3	2.7	19.9	271	-3.3	-0.9	-17.3	20.1	14.0	14.1
7 月		9.7	13.2	2.7	20.2	178	5.1	10.8	1.2	24.1	14.5	14.3
8 月		10.4	13.4	2.6	21.4	285	7.1	7.1	-11.7	0.6	14.7	14.1
9 月	7.8	10.2	13.3	3.1	19.6	152	-0.4	7.4	-16.8	4.9	14.2	14.3
10 月		10.3	13.3	3.2	19.2	311	5.6	7.5	-8.2	1.2	14.3	14.1
11 月		10.0	13.7	3.0	17.6	338	12.7	5.4	-9.3	2.3	14.2	14.2
12 月	7.7	9.7	13.6	2.5	17.2	256	4.3	8.6	-3.4	-42.6	13.6	14.1
2014 年												
1 月				2.5	19.8	319	10.5	10.8	-8.6	-4.5	13.2	14.3
2 月				2.0		-230	-18.1	10.4	1.3	4.0	13.3	14.2
3 月	7.4	8.8	12.2	2.4	17.3	77	-6.6	-11.3	6.1	-1.5	12.1	13.9
4 月		8.7	11.9	1.8	16.6	185	0.8	0.7	0.5	3.4	13.2	13.7
5 月		8.8	12.5	2.5	16.9	359	7.0	-1.7	8.4	-6.6	13.4	13.9
6 月	7.5	9.2	12.4	2.3	17.9	316	7.2	5.5	10.3	0.2	14.7	14.0
7 月		9.0	12.2	2.3	15.6	473	14.5	-1.5	14.0	-17.0	13.5	13.4
8 月		6.9	11.9	2.0	13.3	498	9.4	-2.1	5.2	-14.0	12.8	13.3
9 月	7.3	8.0	11.6	1.6	11.5	310	15.1	7.2	9.4	1.9	11.6	13.2
10 月		7.7	11.5	1.6	13.9	454	11.6	4.6	8.7	1.3	12.1	13.2
11 月		7.2	11.7	1.4	13.4	545	4.7	-6.7	-8.6	22.2	12.0	13.4
12 月	7.3	7.9	11.9	1.5	12.6	496	9.5	-2.3	6.1	10.3	11.0	13.6
2015 年												
1 月				0.8		600	-3.3	-20.0	2.2	-1.1	10.6	14.3
2 月				1.4		606	48.3	-20.8	49.8	0.1	11.1	14.7
3 月	7.0	5.6	10.2	1.4	13.1	31	-15.0	-12.9	0.3	1.3	9.9	14.7
4 月		5.9	10.0	1.5	9.6	341	-6.5	-16.4	2.9	10.2	9.6	14.4
5 月		6.1	10.1	1.2	9.9	595	-2.4	-17.7	-14.0	8.1	10.6	14.3
6 月	7.0	6.8	10.6	1.4	11.6	465	2.8	-6.3	4.6	1.1	10.2	14.4
7 月		6.0	10.5	1.6	9.9	430	-8.4	-8.2	9.6	5.2	13.3	15.7

注：1. ①「実質 GDP 増加率」は前年同期（四半期）比、その他の増加率はいずれも前年同月比である。

2. 中国では、旧正月休みは年によって月が変わるため、1 月と 2 月の前年同月比は比較できない場合があるので注意されたい。また、（ ）内の数字は 1 月から当該月までの合計の前年同期に対する増加率を示している。

3. ③「消費財小売総額」は中国における「社会消費財小売総額」、④「消費者物価指数」は「住民消費価格指数」に対応している。⑤「都市固定資産投資」は全国総投資額の 86%（2007 年）を占めている。⑥—⑧はいずれもモノの貿易である。⑨と⑩は実施ベースである。

出所：①—⑤は国家统计局統計、⑥⑦⑧は海関統計、⑨⑩は商務部統計、⑪⑫は中国人民銀行統計による。